

令和元年度第3回天童市総合教育会議

日 時 令和2年3月19日（木）
午後1時30分開会
場 所 本庁舎3階会議室

次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議・調整事項
 - (1) 天童市教育大綱の策定について
 - (2) 天童市教育大綱に基づく令和2年度の教育方針について
 - (3) その他
- 4 閉会

天童市の教育等の振興に関する大綱（案） 第2回会議からの変更点

1 「確かな学力の育成」について

「」の使い方を工夫し、新しい学習指導要領の資質能力の3つの柱である「知識・技能」「思考・判断・表現」「学びに向かう力」がより明確になるように修正した。

変更前	変更後
<p>また、各学校の特色を生かしながら「質の高い授業」を目指して授業改善に取り組むことにより、「生きて働く知識・技能」_____を身につけ、未知の状況にも対応できる<u>思考力・判断力・表現力</u>を育成しながら、自らの学びを人生や社会づくりに生かそうとする「学びに向かう力」を涵養します。</p>	<p>また、各学校の特色を生かしながら<u>質の高い授業</u> _____を目指して授業改善に取り組むことにより、<u>社会の中で生きて働く「知識・技能」</u>を身につけ、未知の状況にも対応できる「<u>思考力・判断力・表現力</u>」を育成しながら、自らの学びを人生や社会づくりに生かそうとする「<u>学びに向かう力</u>」を涵養します。</p>

2 「英語教育の推進」について

英語教育と併せて、国際感覚を持ち、人種差別や人権にも配慮できる子どもを育てることの重要性を鑑み、当該内容を追加した。

変更前	変更後
<p>グローバル化が進む社会において、_____多様な文化を柔軟に理解する心情を育むとともに、積極的に外国語を用いて日本やふるさと天童の良さを適切に発信することができるコミュニケーション能力を養うことを目指し、英語教育の充実を推進します。</p>	<p>グローバル化が進む社会において、<u>人権尊重の視点を大切にしながら、豊かな国際感覚と多様な文化を柔軟に理解する心情を育むとともに、積極的に外国語を用いて日本やふるさと天童の良さを適切に発信することができるコミュニケーション能力を養うこと</u>を旨し、英語教育の充実を推進します。</p>

3 「芸術・文化・スポーツ活動の推進」及び「生涯スポーツの推進」について

施設の整備など、環境面の充実についても力を入れていきたいとの担当課の意向により、当該内容を追加するとともに、表現の修正を行った。

変更前	変更後
<p>(芸術・文化・スポーツ活動の推進)</p> <p>芸術・文化_____を担う人材を育成するため、積極的に情報発信を行い活動への参加を促進します。<u>また、豊かな感性や創造性をはぐくむため、青少年の芸術・文化活動を支援します。</u></p> <p><u>市民が芸術・文化の魅力に触れ親しめるよう、芸術・文化施設を活用して</u></p> <p>_____多彩な展示会や公演を開催し__鑑賞する機会を充実します。</p> <p>(生涯スポーツの推進)</p> <p>さらに、<u>スポーツを通じた世代間や地域間の交流を行い、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに関われるよう、</u>_____生涯スポーツを推進します。</p>	<p>(芸術・文化・スポーツ活動の推進)</p> <p>芸術・文化・スポーツを担う人材を育成するため、積極的に情報発信を行い活動への参加を促進します。_____</p> <p><u>芸術・文化活動については、豊かな感性や創造性をはぐくむため青少年の活動を支援するとともに、市民が芸術・文化の魅力に触れ親しめるよう、芸術・文化施設の長寿命化を図りながら一層充実させることにより、多彩な展示会や公演を開催し、鑑賞する機会を提供します。</u></p> <p>(生涯スポーツの推進)</p> <p>さらに、<u>市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに関わることができる安全で充実した施設環境の整備により、スポーツを通じた世代間や地域間の交流を図り、</u>生涯スポーツを推進します。</p>

4 具体的な表現について

大綱の性質を踏まえ、具体的な施設名、事業内容等の表現を変更した。

- ・ 図書館、市民プラザ、リバテラスちえふる、高原の里交流施設ぼんぼこなどの施設 →図書館などの施設
- ・ 家庭児童相談員の配置やインターネットを利用した相談窓口の開設など →削除

5 全体的な字句、表現等の軽微な修正

令和2年度の教育方針

天童市教育委員会 教育長 相澤 一彦

1 根本となる見方・考え方

自己存在感、自己有用感を持つことで、生まれてくる意欲や向上心を核にしなが、よりよく生きる知恵や知力を、人間性と心身の健康とともにつけていくこと、そして、生きる場である地域、郷土に愛着と誇りを持つこと、これら三つの柱を大切に教育を進め、人格の完成と郷土の永続的な発展を図ることを基本の考え方にする。

2 一人ひとりを大切にする教育

(1) 深い児童生徒理解のできる教員の育成

職場内での研修と対話の充実（OJT）、特別支援教育の視点

(2) 教育的ニーズに応じた教育（特別支援教育）の充実

障がい特性に応じた教育

(3) 生きる力を育てる教育（いじめや不登校等生徒指導）の充実

S S W有効な活用、これまでの体制の維持と充実

だれもが認められ大切にされる、居場所があるあたたかな教育

2 学びに向かう力を育む教育（学力向上の保障）

(1) 深い学びを約束する指導力の向上

新学習指導要領の確実な実施（小）と移行期（中）の充実を保障する研修等の実施

(2) 新しい教育（ICT、英語、道徳等）の方法や領域の充実

実践の公開、交流と結果の検証

(3) 家庭の教育力向上と食育の推進

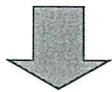
P T Aと連携した携帯端末使用ルールの推進
よりよい生活習慣の推進

次代を生き抜く知恵と技能を身に付ける、たくましさを伸ばす教育

3 郷土を担う人づくりの教育

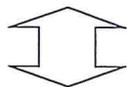
- (1) 郷土を知り、郷土との関わりを育む学校教育
開かれた教育課程の充実、「市民科（仮称）」編集推進
- (2) 公民館活動や地域活動、P T A活動等を充実させる支援
ボランティア活動の推進
- (3) 芸術・文化、スポーツの振興を育む教育
教育課程への位置づけと柔軟な教育課程

市民としての自覚を促し、郷土に生きる思いや希望を育てる教育



天童の教育 三つの柱

- 1 一人ひとりを大切にする教育 ⇨ 特別支援教育と「いじめ・不登校」
- 2 学びに向かう力を育む教育 ⇨ 学力、ICT、英語力の施策と評価
- 3 郷土を担う人づくりの教育 ⇨ ふるさと学習と「市民科教科書」作成



目指す天童市の子供像

未来を描き、問いを立て 解決・創造する子供